

# 守護神

## SS-200

### 取付け・取扱い説明書 保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 守護神 (SS-200) をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

#### ⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感じし警告を行う装置です。車上ねらい、車両盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

#### 目次

●ご使用上の注意	2
●おもな特長	3
●各部の名称	4・5
●取付け／接続方法	
・取付け・接続時の注意	6
・配線概要図	7
・取付け手順1 (ボディーアース配線)	8
・取付け手順2 (スピーカーユニット取付け／接続)	8
・取付け手順3 (12V検出線配線)	9
・取付け手順4 (ホーン出力配線)	10・11
・取付け手順5.6.7 (常時電源配線・フラッシャーユニットの接続・16Pハーネスの接続)	12
・取付け手順8.9 (フラッシャーユニットの取付け・メインユニットの取付け)	13
●リモコンについて	14
●機能設定	
・設定方法	15
・機能設定表	16
・センサー設定	17
・フラッシャーユニット表示設定	18
・ホーン警告設定	19
・スピーカー警告設定	20
・振動センサー感度設定	21
・スタート/ストップ音設定	21
・振動センサーVOL設定	22
・スピーカーVOL設定	22
●盗難警報機能	
・SS-200のスタート/ストップ	23
・警報内容	24
・その他機能	24
●故障かな?と思ったら	25
●盗難保険について	26

## ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

### 警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

### 注意

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

### 警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。又、エンジンルーム内への取付け・配線等も車両の機構（ファン・ベルト等）や、熱の影響の無い場所へ取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

### 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- イグニッションキーを抜いた状態で、ステアリングのホーンボタンを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らないお車は、ホーン警告機能が使用できません。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。

- 備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

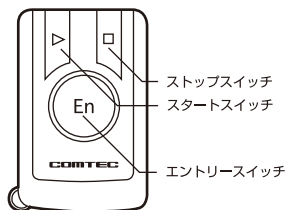
## おもな特長

- 衝撃&電圧のダブルセンサー**  
雨や風による揺れには反応せず、衝撃にのみ反応する新型振動センサーと、ドアオープン（ルームランプ点灯）等の電圧変化に反応する新開発の電圧センサーのダブルで監視。  
※一部車種で、電圧センサーが正常に作動しない場合があります。別売のカーテシ配線を行ってください。
- 高輝度LEDによる監視機能&警告機能**  
本製品が車両監視状態の時、12個の高輝度LEDが点滅（6パターン）し不審者を威嚇します。  
又、衝撃・電圧変化を感知すると高輝度LEDがフラッシュ点滅し、警告を行います。
- ダブル警告機能**  
車体衝撃の強弱によって2段階の警告を行います。
- 日本語・英語・電子音での警告が行なえるスピーカー**  
スピーカーからの警告音を、日本語・英語・電子音の中から設定できます。  
又、ボリューム調整機能で、音量の調整も可能です。
- ホーン警報機能**  
衝撃・電圧変化を感知した場合、車両のホーンを鳴らし警告を行う事が可能です。  
※一部車種で、ホーン警報が行えない場合があります。
- 盗難保険・1年間無償加入**  
本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。（最高保証額¥100,000）  
※保険対象品 ・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ  
・レーダー探知機・エンジンスターター
- 履歴機能**  
停車中の車両に異常が起きた時、センサー別に反応回数を確認できる履歴機能を搭載。
- 環境誤動作防止回路**  
車両への微振動を常にサンプリングし、車両への衝撃による振動との違いを確実に判断する新回路を搭載し、従来以上に風・雨等による誤動作を減少します。
- エンジンスターター&ターボタイマー取付車対応**  
エンジンスターター&ターボタイマーの作動中は、振動・電圧変化の警告は行いません。
- 省電力モード（バッテリー保護）**  
8日間以上連続して監視状態の場合、バッテリー保護の為、高輝度LEDが消費電力最小の点滅に変わります。
- 豊富なオプションで、車にあわせてシステムアップが可能**
  - ・カーテシ配線 一部車種で電圧センサーが働かない場合、カーテシスイッチ（ドアスイッチ）の信号を検出し、ドアオープン時の警報を行います。
  - ・拡張振動センサー RV・ミニバン等車体の大きな車で車両後部の振動検出ができない車に最適です。
  - ・トランクセンサー トランクの開閉を感知し、警報をおこないます。ハッチバック車への取付も可能です。
  - ・傾斜センサー 車両の傾きを感知し、警報を行います。
  - ・赤外線センサー 車両周辺に赤外線の見えないバリアーを張り、バリアー内への侵入を感知し警報を行います。

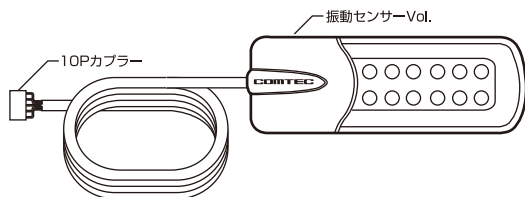
※オプションは順次発売予定。

## 各部の名称 (商品セット内容)

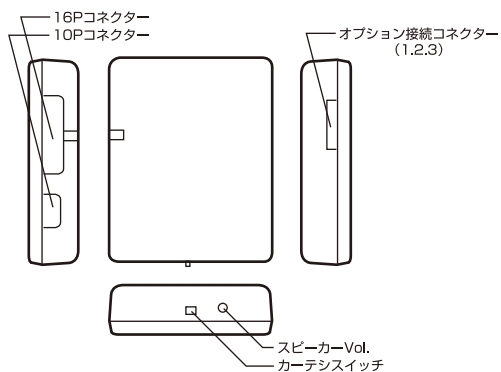
※ ( ) 内はセット数量



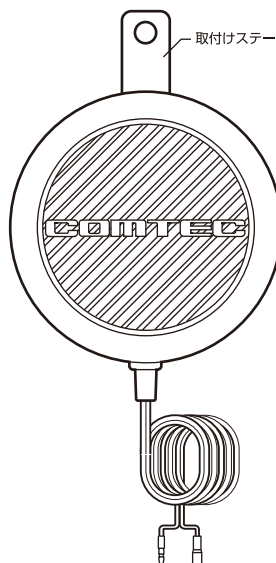
◆リモコン (1)



◆フラッシャーユニット (1)  
(振動センサー内蔵)



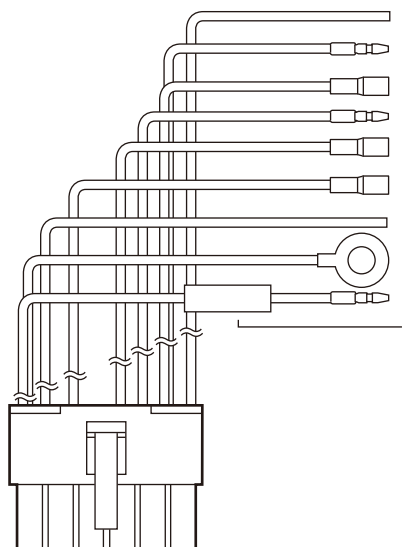
◆メインユニット (1)



◆スピーカーユニット (1)

注: 取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

## 各部の名称 (商品セット内容)



◆16Pハーネス (1)

アンテナ線 (黒)  
 スピーカー出力線1 (白)  
 スピーカー出力線2 (橙)  
 カーテシ入力線 (黄)  
 12V検出線 (茶)  
 ホーン電源出力 (青)  
 ホーン電源入力 (灰)  
 ボディーアース線 (黒)  
 常時電源線 (赤)

ヒューズ  
 ※容量以上の電圧がかかると、安全の為ヒューズが切れます。  
 同じ容量のヒューズと交換してください。



◆ステッカー (1シート)

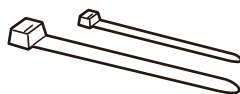
※・2枚セットで1シートです。  
 ・車両の窓ガラス等に貼ってください。



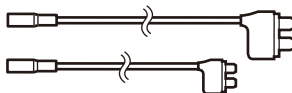
◆コードクランプ (2)



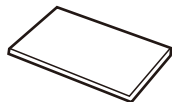
◆調整用ドライバー (1)



◆インシュロック  
 (大×2 小×4)



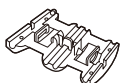
◆平型ヒューズ付きコード  
 (大×1 小×1)



◆両面テープ (1)



◆ホーン出力延長線 (青×1)



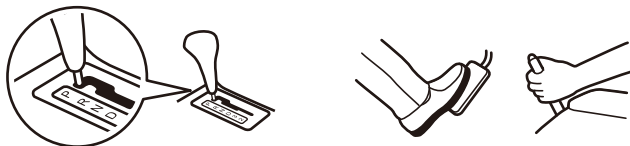
◆エレクトロタップ  
 (赤×2 青×1)



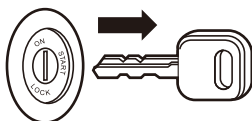
◆インシュロックベース (2)

## ◆取付け・接続時の注意

- シフトレバーをパーキング $\square$ にし、パーキングブレーキを確実にかけます。

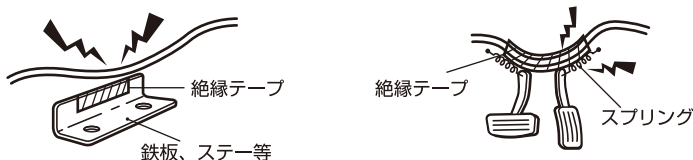


- エンジンを停止させ、キーを抜きます。



- 配線について

※配線等を収納する際、車の金属部（ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。



- 取付けに必要な工具 ※その他の工具が必要になる場合があります。

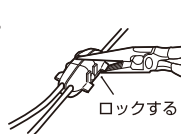
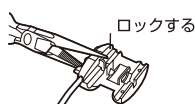
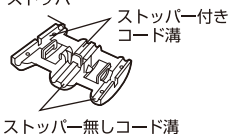
- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・カッターナイフ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・絶縁テープ

- エレクトロタップの使用法

注意 エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。

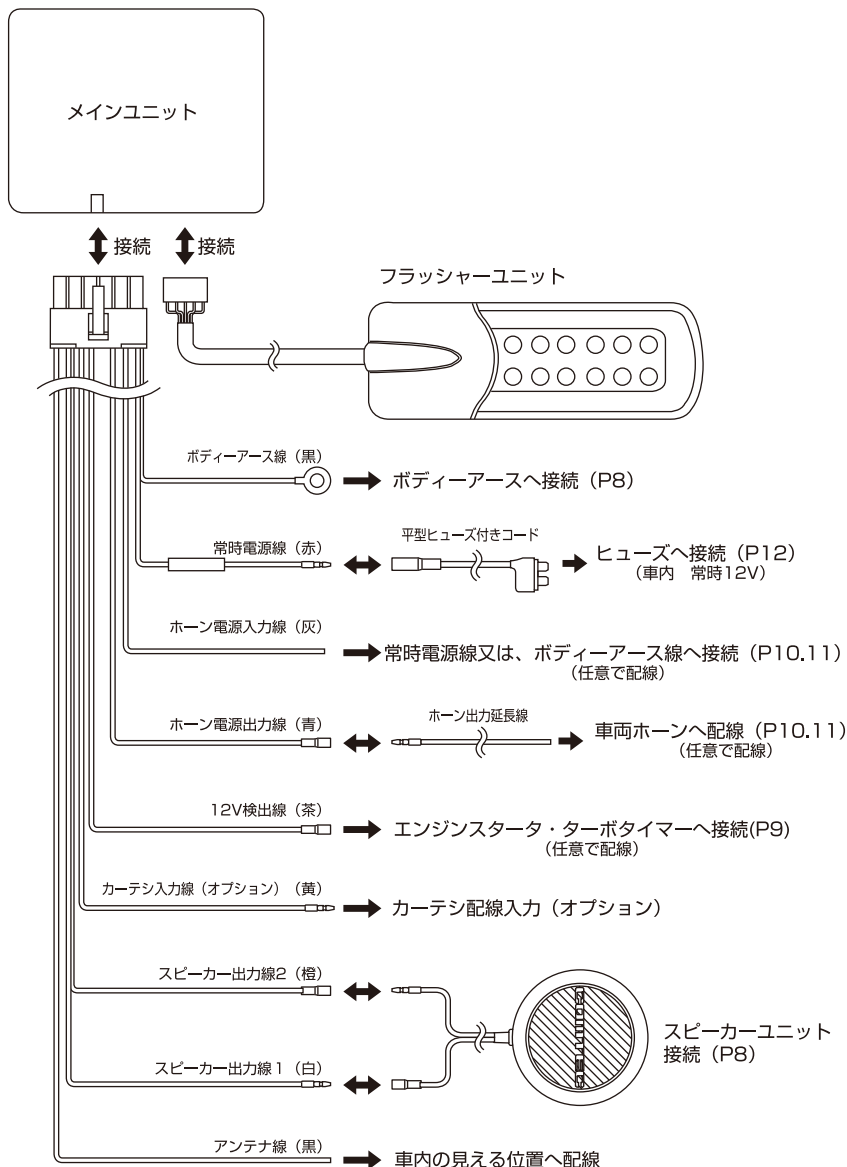
1. タップを図のように見ます。
2. ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。
3. ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。
4. 絶縁テープを巻きます。

ストッパー



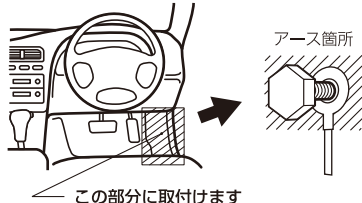
グレー部分全体にテープを巻いてください。

## ◆配線概要図



## ◆取付け手順1 (ボディーアース配線)

16Pハーネス・アース線(黒)を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めします。



この部分に取付けます

### ⚠注意

- ・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

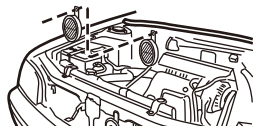
## ◆取付け手順2 (スピーカーユニット取付け／接続)

スピーカーユニットはエンジンルーム／室内のどちらにも取付ける事ができます。

**⚠注意** スピーカーユニットの取付、配線を行う際、車両の機構部(ファン・ファンベルト・アクセルペダル・ブレーキペダル等)や高温となる場所(エンジン・ラジエター・エアコン吹き出し口付近等)への配線は避けてください。

### 1.スピーカーユニットの取付け (エンジンルーム)

- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、雨等の水が直接当たらない箇所へ確実に取付けます。
- ・車両のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開けスピーカーユニットの配線を室内側へ配線してください。

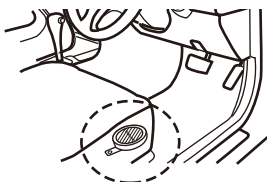


(取付け例) エンジンルーム内



### 2.スピーカーユニットの取付け (室内)

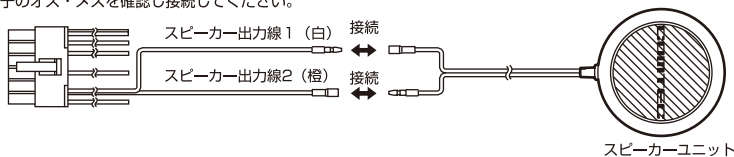
- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
  - ・車両のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ※気密性、防音性の高い車両の場合、室内に取付けると警告音が聞こえ難くなる場合があります。



(取付け例) 運転席下部

### 3.スピーカーユニットの接続

- ・16Pハーネス・スピーカー出力線1(白)・スピーカー出力線2(橙)をそれぞれスピーカーユニットと接続します。
- ※各端子のオス・メスを確認し接続してください。





## ◆取付け手順3 (12V検出線配線)

(任意配線)

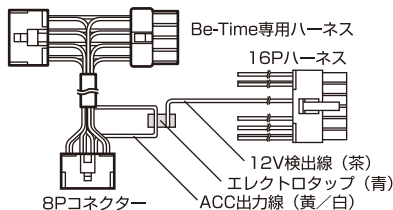
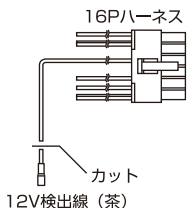
※エンジンスターター／ターボタイマー取付け車種のみ「手順3」の配線が必要です。

現在ご使用しているエンジンスターター／ターボタイマーのタイプによってa・b・cの3通り配線方法があります。

### a 弊社製品のエンジンスターター・ターボタイマー (Be Timeシリーズ) を取付けている車種。

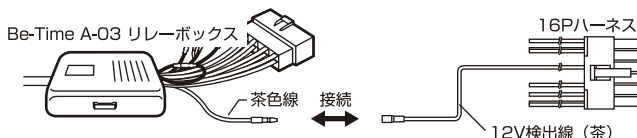
・16Pハーネス・12V検出線 (茶)  
をギボシ部分でカットします。

・16Pハーネス・12V検出線 (茶) と、Be Time専用  
ハーネスの黄／白線をエレクトロタップで接続します。



### b 弊社製品のリモコンエンジンスターター (Be Time A-03・A-13) を取付けている車種。

- ・A-03の場合 → 16Pハーネス・12V検出線 (茶) をBe Timeの茶色線と接続します。
- ・A-13の場合 → 16Pハーネス・12V検出線 (茶) をBe Time付属の接続端子線に接続し14Pコネクタの⑦へ差込みます。

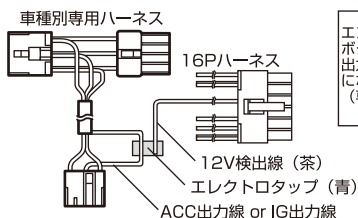
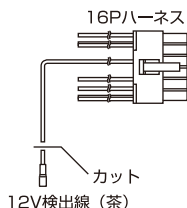


※イラストはA-03との接続  
各スターター取扱説明書を参照

### c 他社製品のエンジンスターター／ターボタイマーを取付けている車種。

・16Pハーネス・12V検出線 (茶)  
をギボシ部分でカットします。

・16Pハーネス・12V検出線 (茶) と車種別ハーネスのACC出力線  
をエレクトロタップで接続します。(ACC出力線が無い時、IG出力線)



※ACC出力線とは？  
エンジンスターター・ターボタイマー作動時、12Vを出力しエンジン停止時、0Vになる線 (専用ハーネス内の線)

## ◆取付け手順4 (ホーン出力配線)

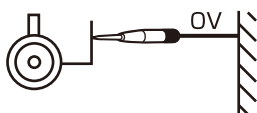
(任意配線)

※本製品はホーン出力配線を行う事で、警報時にホーン(車両のクラクション)をならす事が可能です。  
又、付属のスピーカーユニットのみで警告を行う場合は、ホーン出力配線の必要はありません。

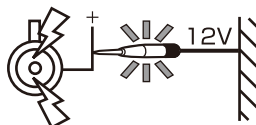
- ⚠注意**
- 車のホーンは、「マイナススイッチ方式」と「プラススイッチ方式」があります。下記の方法で、ホーンのスイッチ方式を調べてください。
  - エアバックの誤作動やその他事故を防止する為、ホーン配線はホーンに直接配線してください。(室内・ハンドルのホーンスイッチ部等には、配線しないでください。)

### ■プラススイッチ方式

#### 1・車のホーン1ケにつきコードが1本の場合

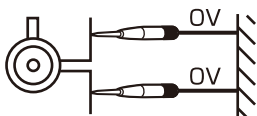


- (1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時0V。

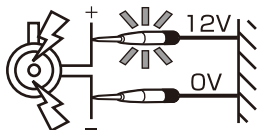


- (2) ホーン・オン時12V側が+コード。

#### 2・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合



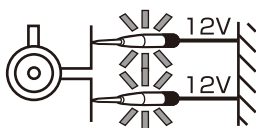
- (1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共0V。



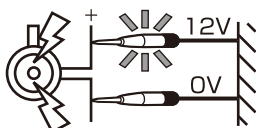
- (2) ホーン・オン時12V側が+コード。  
ホーン・オン時0V側が-コード。

### ■マイナススイッチ方式

#### 1・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合



- (1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共12V。



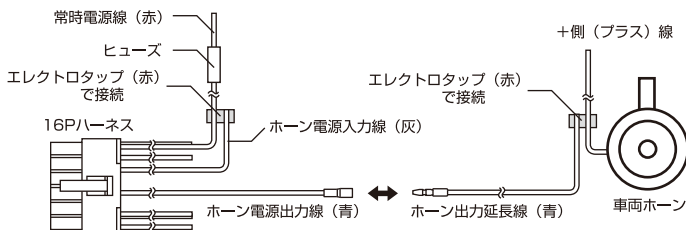
- (2) ホーン・オン時12V側が+コード。  
ホーン・オン時0V側が-コード。

# 取付け／接続方法

- ⚠ 注意**
- イグニッションキーを抜いた状態でステアリングのホーンスイッチを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らないお車は、本製品でのホーン警告が行なえません。スピーカーユニット警告でご使用ください。
  - 本製品は7Ah以下のホーンが使用できます。（複数個のホーンを使用している場合は、合計で7Ah以下7Ah以上のホーンをご使用の場合は、市販のホーンリレー等をご使用ください。
  - P10を参照し、取付け車種のホーン配線がプラススイッチ方式か、マイナススイッチ方式かを確認してください。

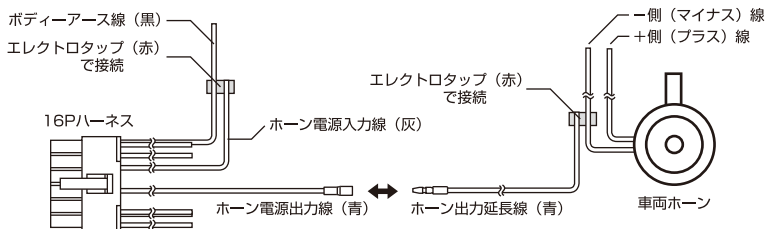
## ■プラススイッチ方式の配線

- ・16Pハーネス・ホーン電源入力線（灰）と常時電源線（赤）をエレクトロタップ（赤）で接続します。
- ・16Pハーネス・ホーン電源出力線（青）を付属のホーン出力延長線（青）と接続し、車両ホーンの上側（プラス）線へエレクトロタップ（赤）で接続します。



## ■マイナススイッチ方式の配線

- ・16Pハーネス・ホーン電源入力線（灰）とボディーアース線（黒）をエレクトロタップ（赤）で接続します。
- ・16Pハーネス・ホーン電源出力線（青）を付属のホーン出力延長線（青）と接続し、車両ホーンの下側（マイナス）線へエレクトロタップ（赤）で接続します。



## ■ホーン出力延長線（青）の配線

- ⚠ 注意**
- 配線を行う際、車両の機構部（ファン・ファンベルト等）や高温となる場所（エンジン・ラジエーター等）への配線は避けてください。

- ・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開け延長線（青）を室内側から配線します。



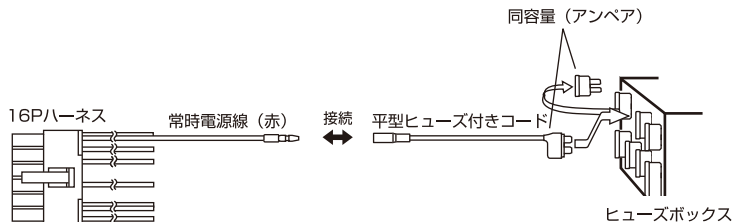
車のホーンまで、延長線（青）を配線します。

## 取付け／接続方法

### ◆取付け手順5（常時電源配線）

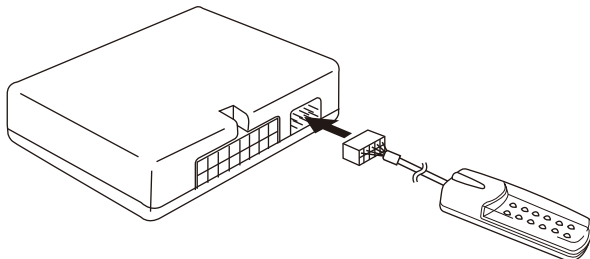
●付属の平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車両のヒューズサイズに合わせてご使用ください。

- ・16Pハーネス・常時電源線（赤）に平型ヒューズ付きコードを接続し、車両の常時電源がとれるヒューズと差し換えます。
- ※・必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差し換えてください。
- ・車両と同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量のヒューズ付きコード等をご使用ください。



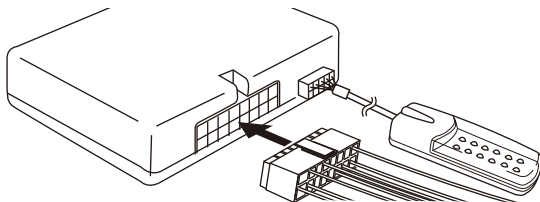
### ◆取付け手順6（フラッシャーユニットの接続）

- ・メインユニットの10Pコネクターへフラッシャーユニットの10Pカプラーを接続します。



### ◆取付け手順7（16Pハーネスの接続）

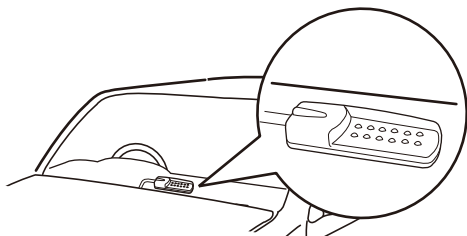
- ・メインユニットの16Pコネクターへ16Pハーネスを接続します。
  - ・16Pハーネスを接続するとフラッシャーユニットが2回点滅し、スピーカーユニットから3秒間電子音が鳴ります。
- ※フラッシャーユニットの点滅、スピーカーユニットの警報が行われない場合は、再度接続を確認してください。



## ◆取付け手順8 (フラッシャーユニットの取付け)

- フラッシャーユニット内に振動センサーが内蔵されています。車両への衝撃を平均的に検出するため、必ずダッシュボード中央部分へ確実に取付けてください。

- ・両面テープを適当なサイズにカットし、フラッシャーユニットをダッシュボード中央部分に固定します。
- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- △ 注意
  - ・フラッシャーユニットは視覚的防犯効果がありますので、車外から見える位置に取付けてください。
  - ・振動センサーVol.が手もと側（操作できる側）になるよう取付けてください。
  - ・取付け、配線等はエアバック等車両の機構部に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。



(ダッシュボード中央部に取付けます)

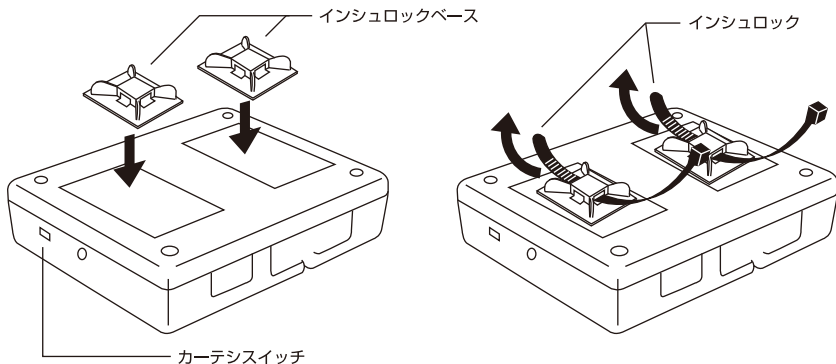
## ◆取付け手順9 (メインユニットの取付け)

P15～P22の機能設定が終了してから取付けを行ってください。

### ●カーテシ検出スイッチ

別売のカーテシ配線を行っている場合は、カーテシスイッチを2 (配線時) に切り替えてください。  
(カーテシ配線 (オプション) を行っていない場合は、1 (通常時))

- ・メインユニットに付属のインシュロックベースを貼り、インシュロックを使用して車内の目立たない位置へ取付けます。
- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- △ 注意
  - ・スピーカーVol.が操作しやすい位置に取付けてください。
  - ・取付け、配線は車両の機構部 (アクセルペダル、ブレーキペダル等) に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。

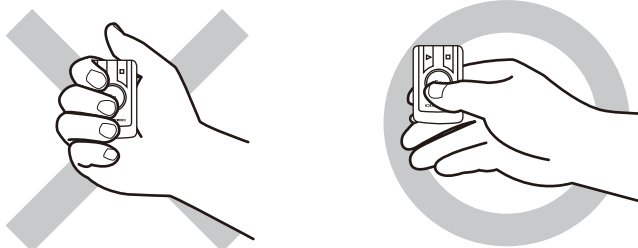


# リモコンについて

- ⚠ 注意**
- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
  - リモコンの操作可能距離は、使用条件、環境等により違いがでますが、約4~5mです。
  - 電池寿命の目安は新品の電池で1日2回の使用で約1年間です。
  - ※出荷時は新品の電池をセットしていますが、自然放電や、使用条件等により電池寿命が1年以下の場合があります。
  - リモコン操作のできる距離が短くなった場合、早めに新しい電池と交換してください。
  - 指定の電池（CR2016）以外は使用しないでください。故障の原因となります。
  - Be Time A-03又は、A-13のリモコンと本リモコンを同時には使用しないでください。誤動作の原因となります。

## ◆リモコンの操作方法

リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為にリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



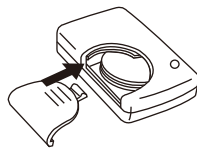
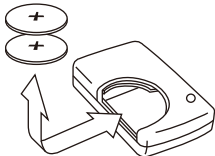
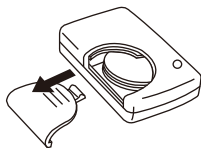
## ◆電池交換について

電池の交換は下図の手順に従い⊕⊖の極性を確認し、行ってください。

1.電池カバーを矢印の方向に従って外します。

2.電池（CR2016）を2枚、矢印に従って交換します。

3.電池カバーを矢印の方向に従って閉めます。



## ◆リモコンを破損・紛失した場合

リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能もしくは紛失された場合は新たにリモコンをご購入いただく事になりますが、その場合商品のロットナンバーが必要になります。必ず、商品ロットナンバーを保証書に記入しておいてください。

※下記に、あらかじめ記入しておいてください。

ロットナンバーはリモコン裏面・メインユニット裏面に記載してあります。

リモコンロットナンバー

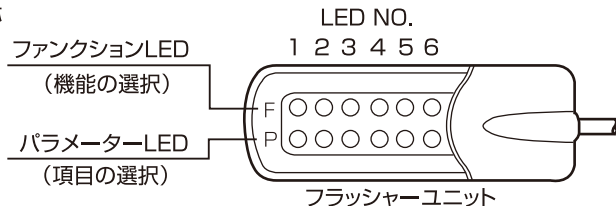
# 機能設定

- 本製品は下記機能を任意に設定することができます。
- NO.1～6の設定はリモコンで行います。

1	センサー設定	5	振動センサー感度設定
2	フラッシャーユニット表示設定	6	スタート/ストップ音設定
3	ホーン警報設定	7	振動センサーVOL.設定
4	スピーカー警報設定	8	スピーカー音量VOL.設定

## ◆設定方法 ※機能1～6 (リモコンでの設定)

### ●名称

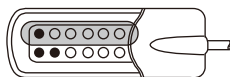


- 設定方法 ※約15秒以上リモコンからの入力がない状態がつづくと同機能設定は自動終了します。各機能の設定方法詳細はP16～P22を参照してください。

- 1.本製品が停止している状態で、リモコンのスタート/ストップスイッチを同時に押します。
- 2.ファンクションLEDが点灯し対応する項目のパラメータLEDの現設定が点灯します。



スタート/ストップ  
スイッチを同時に押す

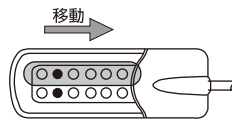


ファンクションLED点灯  
パラメーターLED点灯

- 3.スタート/ストップスイッチを同時に押する毎にファンクションLED点灯箇所が移動します。設定する機能にあわせて。(点灯)



スタート/ストップ  
スイッチを同時に押す



ファンクションLED点灯が移動

- 4.リモコンのスタートスイッチを押すとパラメータLEDが点灯から点滅に変わります。

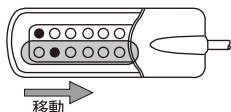
- 5.スタートスイッチを押す毎に点滅が移動します。

設定する項目にあわせて。(点滅)  
※機能1・4の設定方法は一部異なります。  
詳しくはP17・P20を参照してください。

- 6.続けて他の機能を設定する時は、再度3へ。



スタートスイッチを押す



パラメータLEDが移動



スタート/ストップスイッチの同時押しを繰り返すか、約15秒以上リモコンから入力を行わないと設定は終了します。



LEDが全て消灯し終了

## ◆機能設定表

▼ 印は、出荷時の初期設定



NO.	項目 機能	パラメーターLED						
		○○○○○○	●○○○○○	○●○○○○	○○●○○○	○○○●○○	○○○○●○	○○○○○●
1	●○○○○○ センサー設定 (P17参照)	全センサー OFF	振動センサー (点灯) ON (消灯) OFF	電圧センサー (点灯) ON (消灯) OFF	オプション1 (点灯) ON (消灯) OFF	オプション2 (点灯) ON (消灯) OFF	オプション3 (点灯) ON (消灯) OFF	オプション4 (点灯) ON (消灯) OFF
	○●○○○○ フラッシャー設定 (P18参照)	表示無し 	点滅 	ループ 	スウィング 	スルー 	セパレート 	イコライザー 
3	○○●○○○ ホーン警告設定 (ホーン配線時のみ) (P19参照)	機能OFF	0.2秒鳴る × 3回	0.2秒鳴る × 6回	0.2秒鳴る × 16回	0.4秒鳴る × 3回	0.4秒鳴る × 6回	0.4秒鳴る × 16回
	○○○●○○ スピーカー警告設定 (P20参照)	機能OFF	初期警報 電子音	初期警報 日本語	初期警報 英語	本警報 電子音	本警報 日本語 + 電子音	本警報 英語 + 電子音
5	○○○○●○ 振動センサー感度設定 (P21参照)	LOW (低い)						HI (高い)
6	○○○○○● スタート/ストップ音 設定 (P21参照)	機能OFF	電子音	日本語	英語	ホーン (0.2秒)	ホーン (0.4秒)	ホーン (1.0秒)
<b>ホーン配線時のみ</b>								

7	振動センサーVOL. 設定 (P22参照) (フラッシャーユニット)	付属のドライバーを使用して フラッシャーユニットにある 振動センサーVOL.を調整し てください。		
---	---	--	--	--

8	スピーカーVOL. 設定 (P22参照) (メインユニット)	付属のドライバーを使用して メインユニットにあるスピー カーVOL.を調整してください。		
---	---	--	--	--



## ◆センサー設定

- 本製品には車両への衝撃と電圧変化を検出する2つのセンサーが内蔵しており、また、複数のオプションセンサーの取付けも可能です。使用環境等にあわせて各センサーのON/OFFを設定します。
- 下記表を参照して設定を行ってください。
- 設定方法

(1)・スタート/ストップスイッチの同時押しでファンクションLED1にあわせませす。(点灯)

(2)・スタートスイッチを押すとパラメーターLEDが点滅します。

・スタートスイッチを押す毎に点滅箇所が移動します。

・設定したい項目(パラメーターLED)にあわせませす。(点滅)

(3)・ストップスイッチを押す毎にパラメーターLEDがON(点灯)/OFF(消灯)します。

・ストップスイッチを押し選択した項目(パラメーターLED)を設定します。

(4)・他の項目を設定する場合、(2)を再度行います。

● 点灯 ○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
● ○ ○ ○ ○ ○ 1 2 3 4 5 6	各センサー(オプション含む)のON/OFFを設定します。 ※オプションの設定は、オプション取付け時のみ有効。

項目	パラメーターLED	項目内容
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	全てのセンサーがOFF
2	1 2 3 4 5 6 ● ○ ○ ○ ○ ○	振動センサー
3	1 2 3 4 5 6 ○ ● ○ ○ ○ ○	電圧センサー
4	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ● ○ ○ ○	オプション1
5	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	オプション2
6	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ● ○	オプション3
7	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ●	オプション4

複  
数  
の  
設  
定  
可  
能

## ◆フラッシャーユニット表示設定


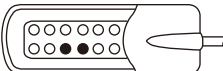





(設定方法P15参照)

●下記表を参照して設定を行ってください。

※省電力モード(P24)時は、項目2の点滅パターンになります。

● 点灯 ○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○ ● ○ ○ ○ ○ 1 2 3 4 5 6	・本製品が作動中であることを周囲に知らせ、不審者へ心理的な威圧感を与えることのできる6通りの点灯パターンがあります。

項目	パラメーターLED	項目内容
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	表示しない  LEDは点灯しません。
2	1 2 3 4 5 6 ● ○ ○ ○ ○ ○	点滅  2個のLEDが点滅します。 ※省電力モード時も点滅表示となります、
3	1 2 3 4 5 6 ○ ● ○ ○ ○ ○	ループ  2個のLEDが回転点灯します。
4	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ● ○ ○ ○	スウィング  LED点灯が左右に流れます。
5	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	スルー  LED点灯が2個移動します。
6	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ● ○	セパレート  LEDが中央から順次点灯後、中央から順次消灯します。
7	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ●	イコライザー  車両への衝撃にあわせてLEDが点灯します。

## ◆ホーン警告設定

(設定方法P15参照)

●下記表を参照して設定を行ってください。

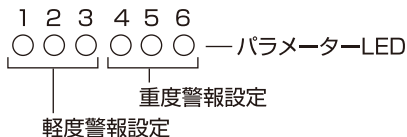
※ホーン出力配線 (P10・P11) を行っていない場合は、項目1の全てOFFに設定してください。

● 点灯 ○ 消灯

ファンクションLED		機能内容
○ ○ ● ○ ○ ○ 1 2 3 4 5 6		・振動センサーが衝撃を感知しホーンで警告を行う時の鳴り方を設定します。(重度警報のみ)
項目	パラメーターLED	項目内容
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	ホーン警告OFF
2	1 2 3 4 5 6 ● ○ ○ ○ ○ ○	0.2秒×3回 警告 1 2 3 停止 秒 0.2 0.5
3	1 2 3 4 5 6 ○ ● ○ ○ ○ ○	0.2秒×6回 警告 1 2 3 4 5 6 停止 秒 0.2 0.5
4	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ● ○ ○ ○	0.2秒×16回 警告 1 2 3 14 15 16 停止 秒 0.2 0.5
5	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	0.4秒×3回 警告 1 2 3 停止 秒 0.4 0.5
6	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ● ○	0.4秒×6回 警告 1 2 3 4 5 6 停止 秒 0.4 0.5
7	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ●	0.4秒×16回 警告 1 2 3 14 15 16 停止 秒 0.4 0.5

## ◆スピーカー警告設定

- スピーカー警告には、軽度警報・重度警報（P24）の2種類があり、それぞれOFF、電子音、日本語、英語、から選択できます。
- 下記表を参照して設定を行ってください。
- 設定方法



- (1) スタート/ストップスイッチの同時押しでファンクションLED3を選択します。(点灯)
- (2) 軽度警報設定方法
  - ・リモコンのスタートスイッチを押す毎に点滅がパラメーターLED1～3の間を移動します。
  - ・設定する項目のLEDにあわせませす。(点滅)
- (3) 重度警報設定方法
  - ・リモコンのストップスイッチを押す毎に点滅がパラメーターLED4～6の間を移動します。
  - ・設定する項目のLEDにあわせませす。(点滅)

- 点灯 ○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○ ○ ○ ● ○ ○ 1 2 3 4 5 6	・振動センサーが衝撃を感知しスピーカーで警告を行う時の鳴り方を設定します。

項目	パラメーターLED	項目内容
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	・1～3消灯→軽度警報OFF ・4～6消灯→重度警報OFF
2	▶ スタートスイッチで設定 ● ○ ○ ○ ○ ○	軽 度 警 報  重 度 警 報  （1つ選択）
3	○ ● ○ ○ ○ ○	
4	○ ○ ● ○ ○ ○	
5	■ ストップスイッチで設定 ○ ○ ○ ● ○ ○	電子音（間欠音）にて30秒警告
6	○ ○ ○ ○ ● ○	日本語にて警告後、電子音で約20秒警告 「警告します。ただちに車両から離れてください。」
7	○ ○ ○ ○ ○ ●	英語にて警告後、電子音で約20秒警告 「Get away soon. A warning start now.」

# 機能設定

## ◆振動センサー感度設定

(設定方法P15参照)

●下記表を参照して設定を行ってください。

●点灯 ○消灯

ファンクションLED	機能内容
○ ○ ○ ○ ● ○ 1 2 3 4 5 6	・車両への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。 ※振動センサーVOL.設定(P22)を行ってから設定してください。

項目	パラメーターLED	項目内容
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	感度LOW(低い) レベル1
2	1 2 3 4 5 6 ● ○ ○ ○ ○ ○	レベル2
3	1 2 3 4 5 6 ○ ● ○ ○ ○ ○	レベル3
4	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ● ○ ○ ○	レベル4
5	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	レベル5
6	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ● ○	レベル6
7	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ●	感度HI(高い) レベル7

## ◆スタート/ストップ音設定

(設定方法P15参照)

●下記表を参照して設定を行ってください。

※項目5・6・7はホーン出力配線(P10・P11)を行った場合のみ有効です。

●点灯 ○消灯

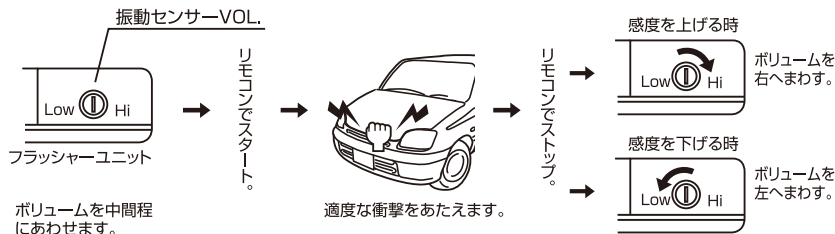
ファンクションLED	機能内容
○ ○ ○ ○ ○ ● 1 2 3 4 5 6	・本製品をリモコンでスタート/ストップ時、スピーカー又は、ホーンにてお知らせします。

項目	パラメーターLED	項目内容	
1	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	スタート/ストップお知らせOFF	
2	1 2 3 4 5 6 ● ○ ○ ○ ○ ○	電子音にてお知らせ スタート時:「ポツ」 ストップ時:「ポッポツ」	
3	1 2 3 4 5 6 ○ ● ○ ○ ○ ○	日本語にてお知らせ スタート時:「注意してください。ポツ」 ストップ時:「注意してください。ポッポツ」	
4	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	英語にてお知らせ スタート時:「Attention. ポツ」 ストップ時:「Attention. ポッポツ」	
5	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ● ○ ○	ホーン出力配線を行った 場のみ有効	ホーンにてお知らせ スタート時:0.2秒×1回 ストップ時:0.2秒×2回
6	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ● ○		ホーンにてお知らせ スタート時:0.4秒×1回 ストップ時:0.4秒×2回
7	1 2 3 4 5 6 ○ ○ ○ ○ ○ ●		ホーンにてお知らせ スタート時:1秒×1回 ストップ時:1秒×2回

## ◆振動センサーVOL.設定

- 車両への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。
- ※振動センサーの設定には、リモコンで行う設定方法と、振動センサーVOL.で行う方法と2通りありますが、必ず先に振動センサーVOL.での設定を行ってください。

- 1.振動センサーVOL.を付属のドライバーで中間の位置にあわせませす。
- 2.車両エンジンを切り、全てのドアを閉じます。  
※駐車状態にします。
- 3.本製品をリモコンでスタートします。(P23)
- 4.約15秒間、フラッシャーユニットが全点滅します  
※スタート後、約15秒間は警報を行いません。
- 5.全点滅から表示が変わった後、車外から車両に軽く衝撃をあてます。
- 6.適度な衝撃で、警報が行われる様に衝撃センサーVOL.を調整します。  
※感度が弱い場合は振動センサーVOL.を右へ、強い場合は左へ少しずつまわして調整を行ってください。  
必ずリモコンで本製品をストップ(P23)してから、振動センサーVOL.の調整を行ってください。



## ◆スピーカーVOL.設定

- スピーカーの音量調整をメインユニットのスピーカーVOL.で行います。  
必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください。

- 1.スピーカーユニットから行う警告の音量を大きくする場合、スピーカーVOL.を右(Hi)へまわします。
- 2.スピーカーユニットから行う警告の音量を小さくする場合、スピーカーVOL.を左(Low)へまわします。
- 3.本製品を作動させ、フラッシャーユニットへ軽く振動をあてて、音量を確認してください。



## ◆SS-200のスタート/ストップ

●本製品の盗難警報機能をスタート/ストップさせます。

・車両のエンジンを停止し、全てのドアを閉じドアロックをしてから操作してください。

・スタート後約15秒間は、警報予備状態となります。(フラッシャーユニット全点滅)

※警報予備状態の時は車両に衝撃・電圧変化がおきても警報は行いません。

エンジンスターター、ターボタイマー作動中は車両に衝撃・電圧変化がおきても警報は行いません。

●本製品付属のリモコンで行う場合

※・スタート/ストップ音設定を行っている場合スピーカー又は、ホーンが鳴ります。

### ◆スタート方法

- ・リモコンのエントリースイッチを押します。
- ・LEDの点滅中に、スタートスイッチを押します。
- ・LEDが点灯し、電波が送信されます。



エントリースイッチを押します。  
LEDが点滅します。



スタートスイッチを押します。  
LEDが点灯し電波を送信します。

### ◆ストップ方法 (警戒作動及び、警報のストップ)

- ・リモコンのエントリースイッチを押します。
- ・LEDの点滅中に、ストップスイッチを押します。
- ・LEDが点灯し、電波が送信されます。



エントリースイッチを押します。  
LEDが点滅します。



ストップスイッチを押します。  
LEDが点灯し電波を送信します。

●リモコンエンジンスターター (A-03・A-13) のリモコンで行う場合 ※イラストはA-03

※・スタート/ストップ音設定を行っている場合スピーカー又は、ホーンが鳴ります。

### ◆スタート方法

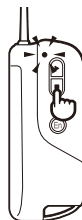
- ・リモコンのスタートスイッチを押します。
- ・LEDが点灯し、電波が送信されます。



スタートスイッチを押します。  
LEDが点灯し電波を送信します。

### ◆ストップ方法 (警戒作動及び、警報のストップ)

- ・リモコンのストップスイッチを押します。
- ・LEDが点灯し、電波が送信されます。



ストップスイッチを押します。  
LEDが点灯し電波を送信します。

注意 Be Time A-03・A-13は電波送信出力が10mWの為、電波法により付近に同一周波数帯の電波がある時は送信できません。詳しくは、各商品の取扱説明書を参照してください。

## ◆警報内容

●本製品には以下の警報があります。

### 1. 振動センサーによる警報

- 軽度警報 弱い衝撃の時に警報を行います。※スピーカーユニットからの警報となります。
- 重度警報 強い衝撃の時に警報を行います。

### 2. 電圧センサーによる警報

車両のドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化を検出し警告を行います。

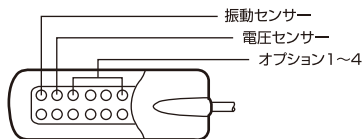
- ※◇一部車種で電圧センサーによる警報が正常に働かない場合があります。別売のカーテシ配線をご使用ください。
  - ◇本製品作動中に、下記機能の操作を行うと車両の電圧変化を検出し警告を行う場合があります。必ず本製品停止中に操作を行ってください。
    - ・リモコンドアロック／キーレスエントリーシステム
    - ・リモコンランクオープナー／リモコンパワーウィンドー／リモコンドアミラー
    - ・電子制御式集中ドアロック等
  - ◇本製品が作動中に、下記機能が作動すると車両の電圧変化を検出し警告を行う場合があります。
    - ・クーリングファン（エンジン停止後に作動するタイプ）
    - ・自動室内換気装置（エンジン停止後に作動するタイプ）
    - ・その他、エンジン停止時に自動的に作動する電装品が取付けされている場合（純正品も含む）

警報種類	作動条件	警報方法
振動センサー	軽度警報	車両への弱い衝撃を検出した時、警告を行います スピーカーユニット (P20)
	重度警報	車両への強い衝撃を検出した時、警告を行います 車両ホーン (P19) (ホーン配線時のみ) スピーカーユニット (P20)
電圧センサー	ドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化を検出した時、警告を行います。 ※一部車種で電圧センサーによる警報が正常に働かない場合があります。別売のカーテシ配線をご使用ください。	車両ホーン (ホーン配線時のみ) ※2回警告×16回 スピーカーユニット ※アナウンス後、30秒連続音で警告

## ◆その他機能

### 1. 履歴表示機能（本製品が作動時に反応したセンサーと回数を表示します。）

- ・本製品が停止している状態で、リモコンのストップ操作を行います。
- ・履歴表示のある場合、フラッシャーユニットが数度全点滅し、対応する項目が点滅します。



LED点滅回数	センサー反応回数
0回	反応なし
1回	1回反応
2回	2回反応
3回	3回反応
4回	4回反応
5回	5回以上反応

### 2. 省電力モード

本製品が8日間以上連続で作動し、その間、警報等が一度も発生しない時、バッテリー保護の為にフラッシャーユニットの表示が点滅に変わります。（各センサーは作動しています。）

※リモコンでスタート/衝撃・電圧変化の検出等を行うと省電力モードは解除され、通常の表示に戻ります。



## 故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症状	確認	対策	ページ
リモコンでスタートしない	・正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	6~13
	・ヒューズが切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	5
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの電池を交換してください。	14
リモコンでストップしない	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの電池を交換してください。	14
フラッシャーユニットが点灯しない	・10Pコネクタが確実に接続されていますか？	・10Pコネクタの接続を確認してください。	12
	・フラッシャーユニット表示設定がOFFになっていませんか？	・フラッシャーユニット表示設定を確認してください。	18
警報が出力しない (スピーカー)	・スピーカーユニットが正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8
	・スピーカー警告設定がOFFになっていませんか？	・スピーカー警告設定を確認してください。	20
警報が出力しない (ホーン)	・ホーン出力配線が正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	10~11
	・ホーン警告設定がOFFになっていませんか？	・ホーン警告設定を確認してください。	19
	・ホーン警告機能の使用できないお車ではありませんか？	・ホーン警告機能はご使用できません。 ホーン警告設定をOFFしてください。	2 (注意)
警報が出力しない (衝撃検出)	・センサー設定がOFFになっていませんか？	・センサー設定を確認してください。	17
	・振動センサーは正しく設定されていますか？	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサー感度設定を確認してください。	22 21
警報が出力しない (電圧変化検出)	・センサー設定がOFFになっていませんか？	・センサー設定を確認してください。	17
	・カーテシ検出スイッチがONになっていませんか？	・別売のカーテシ配線を行っていない場合は、カーテシ検出スイッチをOFFにしてください。	13
	・ルームランプはドアオープンと連動していますか？	・ルームランプをドアオープンと連動させてください。 ※一部車種で、ドアオープン時の電圧変化検出が作動しない場合があります。 別売のカーテン配線をご使用ください。	24
衝撃がない状態で警報が出力される。	・振動センサーは正しく設定されていますか？(感度がHIになっていませんか)	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。	22
		・振動センサー感度設定を確認してください。	21